

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
凝固止血検査学	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	五十嵐康之 ※
授 業 概 要					
凝固止血機構の検査に必要な血小板、凝固・線溶系について、産生、仕組みと働きについて理解する。疾患については、分類、主症状などを学び、検査所見と臨床的意義を理解することを目的とする。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・止血機構について解釈する。</li> <li>・凝固系の仕組みについて説明できる。</li> <li>・線溶系の仕組みについて説明できる。</li> <li>・疾患について病気の成因について説明できる。</li> <li>・疾患の症状、病態について説明できる。</li> <li>・診断基準を具体的に述べる。</li> <li>・検査結果から疾患を類推できる。</li> </ul>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	出血と止血の仕組み、一次止血と二次止血				五十嵐康之 ※
2	血小板の構造、形態、産生と崩壊				
3	血小板の機能				
4	凝固機序、凝固因子の種類				
5	凝固機序、血液試剤と含有凝固因子				
6	凝固制御機構、凝固検査の原理				
7	線維素溶解の機序、凝固と線溶の関係				
8	一次線溶と二次線溶				
9	線溶制御機構				
10	血管異常症、血小板異常症（1）				
11	血小板異常症（2）				
12	凝固因子異常症（1）				
13	凝固因子異常症（2）				
14	線溶因子異常症				
15	血栓症				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義の内容は広範囲になるので教科書及び参考書の復習を十分に行い、しっかりと基礎知識を理解すること。</li> <li>・不明な点は必ずその場で解決すること。</li> </ul>					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。</li> <li>・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。</li> <li>・定期試験（70%）及び小テスト（30%）により評価する。</li> <li>・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。</li> </ul>					
先 修 科 目					
生物学、解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、解剖生理学Ⅲ、解剖生理学Ⅳ、解剖生理学Ⅴ、生化学Ⅰ、生化学Ⅱ、病理学					
教 科 書、参 考 書					
〔教科書〕 最新臨床検査学講座 血液検査学 奈良 信雄 他 医歯薬出版 病気がみえる vol. 5 血液 土屋達行 他 MEDIC MEDIA					